

地域包括支援センター

第5号

H23. 6. 1発行  
(年4回発行)

編集発行

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字皆野1420-1

電話 62-1233

# 在宅介護者のつとめ募集

介護者自身が健康でいられ、介護についての知識を学びながら  
仲間づくりをしませんか。気軽にご参加下さい。

期 日 平成23年 6月 22日(水)

時 間 午前10時から午後12時

場 所 皆野町役場 2階 201会議室

対 象 在宅で介護をしている方

費 用 200円 (材料費)

内 容 「アロマで介護も自分も癒されよう」

講師 アロマセラピスト 新井 幸子 氏

アロマの香りの作用や、アロママッサージの仕方など

申込み 6月15日(水)まで(先着20名)

健康福祉課 地域包括支援センター

電話 62-1233

内線115・116

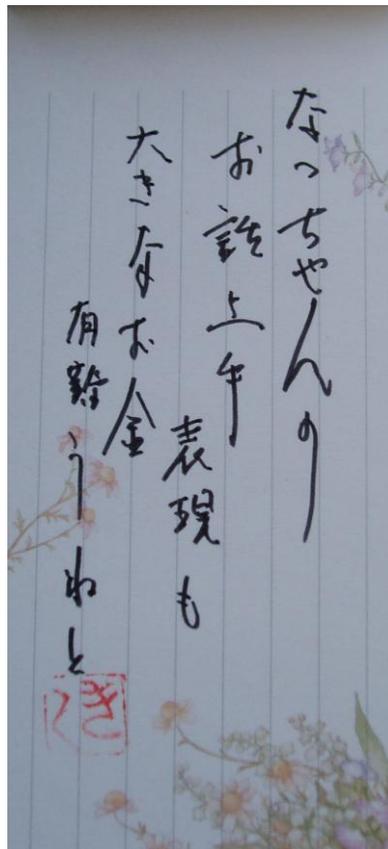
## 今号の特集 地域でいきいき生活



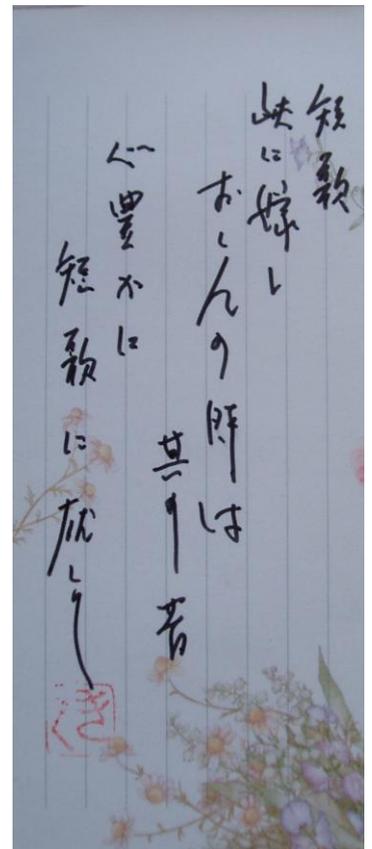
熱心に創作活動するキクさん

今年92歳になる鈴木キクさん（上三沢区）は73歳のころから短歌をはじめました。「自分でできることはしたい」と意欲的に過ごされています。夜寝る前に心に浮かんだ家族や周りの人への感謝の気持ちを綴っています。広報「みんなの」にも短歌を投稿しています。次の短歌はご本人が特に気に入っているものです。

なっちゃんのお話上手 表現も  
大きなお金 有難うねと



峡に嫁し おしんの時は 其の昔  
心豊かに短歌に 託して



\* 「なっちゃん」はひ孫さんのこと



## シリーズ 地域の絆

### 「寄り合いで輪ひろがる」

(大湊地区)

大湊区(旧9区)の公会堂の第2・第4木曜日はいつもにぎやかです。訪れた日も10名の方々が集まり、飲食しながら絶えず楽しい

会話。昼食をとり和気あいあい1日を過ごされています。担当民生委員さんも加わり、認知症の人を保護した体験や悪質商法の手口など、役に立つ話もしていました。



#### <地域包括支援センター人事異動のお知らせ>

4月1日付けで、健康づくり担当から小池佳代保健師(写真左)が転入しました。どうぞよろしくお願いいたします。

また、青木陽子主任ケアマネジャーが健康づくり担当へ転出しました。在籍中は大変お世話になりました。

#### <地域包括支援センターからののお知らせ>

★地域でいきいき生活している高齢の方を募集!!★ 自薦・他薦を問いません。

★地域活動情報を募集!!★

地域の寄合や行事など活動している団体を把握しています。地域社会の繋がりを通じて介護保険サービス以外の介護予防に一役買うような活動をぜひおしえてください。

(問合せ) 皆野町地域包括支援センター

TEL 62-1233(内線115・116) FAX 62-2791

地域包括支援センターはこんな仕事をしています。

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられるようにお手伝いします。

具体的には、介護保険サービスの利用方法、介護予防、保健福祉、権利擁護、そのほか生活に関する不安や悩みなどいろいろな相談に応じます。気軽にご相談ください。

## 高齢者のよろず相談所

皆野町地域包括支援センター（健康福祉課内）

電話 62-1233 内線 115・116

### 【編集後記】

5月に入り暖かく穏やかで気持ちのよい風が吹いている。窓を開け、そんな風を感じながら朝刊に目を通してある投書記事が目止まった。投書主は視野狭さくにより目が不自由なことから白杖を持つ方。内容は、過日行われた統一地方選挙にひとりで投票に行った際、投票所になった体育館入り口の階段に苦労し、受付から投票まで職員の案内がなく、やっとの思いで票を投じたというものだった。読み進めると投書に対する記者のコメントにさらに目を見張った。「選挙管理委員会へ問い合わせたところ、体育館には階段のある入り口から2メートル奥に常設スロープがあったそうです。」と一言。

投書主の言いたかったこと、伝えなかったことは何だろう？人の手で足りないものを器具で補うことは大事であるが、真に大事なことはなにか。それは真っ先に寄り添い、声かけして投票の一連行為（権利の行使）がスムーズにできるように要望に応じて手伝う配慮であろう。

とにかく、器具に頼り環境整備すれば、「これで大丈夫であろう。」という冷たく厳しい風が強いこの頃。急に風向きが変わる思いをした。

ペン やす